

琵琶湖と人との共生

共感

琵琶湖の重要性や保全・再生の必要性について国民の幅広い「共感」を得る

共存

琵琶湖の保全と多様な産業活動等活力ある暮らしとの「共存」を図る

共有

琵琶湖の価値を将来に渡って「共有」する

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環をさらに推進

琵琶湖を『守る』取組

- 水質汚濁の防止対策
(下水道の整備・維持管理)
- 水源林の適正な保全および管理
(水源かん養等の多面的機能を持続的に発揮させるための森林整備事業等)
- 生態系の保全および再生
(ヨシ群落、内湖等の保全再生等)
- 外来動植物対策
(オオバナミズキンバイ等防除、バス等外来魚の駆除等)
- 水草の除去等
(刈取り除去、対策手法の検討等)
- 水産資源の適切な保存および管理
(種苗放流、漁場の再生保全等)



琵琶湖を『活かす』取組

- 山村の再生と林業の成長産業化
(山村資源を活かした取組、森林資源の循環利用等)
- 環境に配慮した農業の推進
(「環境こだわり農業」、「魚のゆりかご水田」、「世界農業遺産」の認定に向けた取組等)
- 環境関連産業の振興
(水草の有効利用に係る技術支援、水環境ビジネス等)
- 体験・体感による琵琶湖とのふれあい推進
(エコツーリズムの推進、ビワイチなど琵琶湖と親しむスポーツの推進等)
- 琵琶湖漁業の持続的発展
(琵琶湖産魚介類の消費拡大・流通促進、新規就業者の確保等)

『支える』取組

調査研究

- 国立環境研究所琵琶湖分室をはじめとする試験研究機関や大学等との連携・協力による研究開発の推進
- 生態系の変化や水質汚濁などに関するメカニズムの解明や調査研究 ● 新たな水質管理手法の検討

多様な主体による協働

- これまでのNPOや関係団体中心の協働に「事業者」「大学」も加わった仕組みの構築
- 下流域住民や学生、団体との協働(清掃活動、琵琶湖水源林の保全整備等) ● ボランティア活動の推進

環境学習、教育 広報・啓発

- 体験型の環境学習の推進(農業体験、森林・林業体験、魚を学ぶ体験学習、琵琶湖博物館における体験学習等)
- 学習船「うみのこ」や森林環境学習「やまのこ」、農業体験学習「たんぼのこ」などの教育・学習の推進